

皆さん、明けましておめでとうございます。年末年始をどのように過ごしましたか。  
特に3年生は、受験を控えてコロナ感染だけでなく、体調管理に気を使ったことと思います。

◆ おみくじの思い出

お正月には初詣には行き、おみくじを引いた人も多いかと思います。

「大吉」を引いた人は“やった！”と思ったでしょう。もちろん最高のくじですが、現状維持の努力が求められることを忘れてはいけません。

「吉・中吉・小吉」は大吉ではないがまあまあの運氣。これからの努力次第という所でしょう。

「末吉」は“末広がり”の意味があるといわれ、これからの期待が持てるそうです。

さて、「凶」を引いてしまった人はいますか？

私が高校3年生とき、1月1日に友人と2人で初詣に行きおみくじを引いた時のお話。その友人は「凶」が出たため、「もう一軒、神社に行く」といって聞かないので、別の神社に向かいました。再び引いたくじも「凶」。自転車で行っていたので、くたくたに疲れて帰ったのを覚えています。

「凶」は、おみくじを引いたときの運氣は良くないのですが、必ずしも悪いことが起きるわけではなく、気を引き締めるための注意喚起であり、自分の行いを改善すれば運氣は上昇するそうです。

その親友の現役での合否は伏せておきますが、現在は、高校時代から目標にしていた東京の出版社で働いています。おみくじも心持ち次第ということでしょう。

◆ 昨年（2022年）の「今年の漢字」について

昨年度末に発表された令和4年の「今年の漢字（毎年年末に発表される、その年の世相を表現した漢字一字）」を覚えていますか？

昨年の漢字は「戦（セン）」。ウクライナ侵攻、北朝鮮の相次ぐミサイル発射などによって多くの人が戦争を意識したこと、その恐怖・不安などが選定の大きな理由にあげられています。

過去にも同じ文字が選ばれたことがあります。それは・・・。21世紀の幕が開けた2001年の「今年の漢字」も「戦」でしたが、どのような年だったか知っていますか？

2001年は9月11日にイスラム過激派テロ組織アルカイダによるアメリカ同時多発テロ事件(9.11)が勃発した年。4機の民間航空機をハイジャックし乗員・乗客とともにマンハッタンの高層ビルなどに突入した事件で、テレビで同意配信されていましたが、信じがたい出来事でした。この事件は2001年を象徴する事件として多くの人々に衝撃的な印象を与え、「第3次世界大戦が始まりそう」「日本も戦争に巻き込まれそう」などと、戦争への不安を訴える声が目立ったそうです。

◆ なぜこの話をしようと思ったか

1月8日（日）の朝刊（神戸新聞）に「大晦日の団欒 一瞬で破壊」の見出しで、大晦日の夜にウクライナのキーウで起こったミサイル攻撃で実際に妻を亡くされた男性を取材した記事が載っていました。これを読んで、皆さんにこの話をしようと思いました。

ウクライナで起こっていることについてニュース等で報道されない日はありませんが、皆さんは少しでも関心を寄せていますか？ ウクライナではこのような惨事が繰り返されており、また、2001年にも同じ漢字が選ばれ歴史は繰り返されています。

そもそも私たちは「平和」を求めて毎日勉強しているはず。このような大きな課題はもちろん、それだけでなく、各自の小さな課題も含めて、様々な問題・課題が解決に向かい、「平和」な一年になることを、年頭に当たり望みます。心にとめておいてください。

◆ 今年の目標や決意について

皆さんはどのような気持ちで新しい年を迎えていますか？漢字一文字にすると・・・。

斉藤元彦 兵庫県知事は今年の漢字を「支」とされました。

「誰一人取り残さない県政を目指し、県民の皆さんと支え合いながら前に進んでいきたい」と抱負を語られました。

私の漢字は「革」です。「あらたまる、あらためる、新しくする」です。私のことはさておき・・・。

皆さんには、「戦」とくつつくと前向き・肯定的な意味（挑戦）になる「挑（いどむ）」を提案します。“〇〇に挑む”の“〇〇”には何を入れますか。それぞれが目標をもって「挑戦」する一年になって欲しいと思います。

◆ これから受験する3年生へ。

3年生に向けて話をするのは、卒業式を除くとこれが最後になると思います。

いよいよ共通テストが始まります。「勝負は下駄を履くまで分からない」と言います。「下駄を履く」とは「物事を無事に終えて帰り支度をする」という意味。皆さんの「下駄を履く時」は、共通テスト直後ではありません。3月、全てが修了するまで一喜一憂せず、しっかりと準備し、2学期終業式で話した「ギリギリまで諦めない」気持ちで、目標とする大学合格に向けて挑戦して下さい。

全校生にとって充実した良い年になることを願って始業式の挨拶とします。